

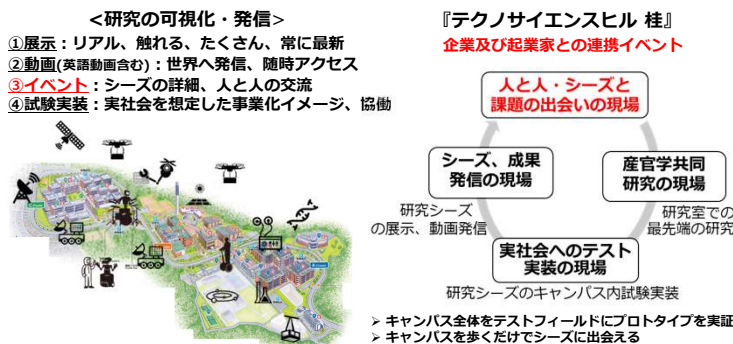
産学連携イベントを活用した女性研究者の活躍例紹介とネットワーク構築の試み

下郡 三紀* (shimogori@kura.kyoto-u.ac.jp), 岡本 昌彦、大西 将徳、大西 兼司、伊藤 健雄
(京都大学学術研究支援室)

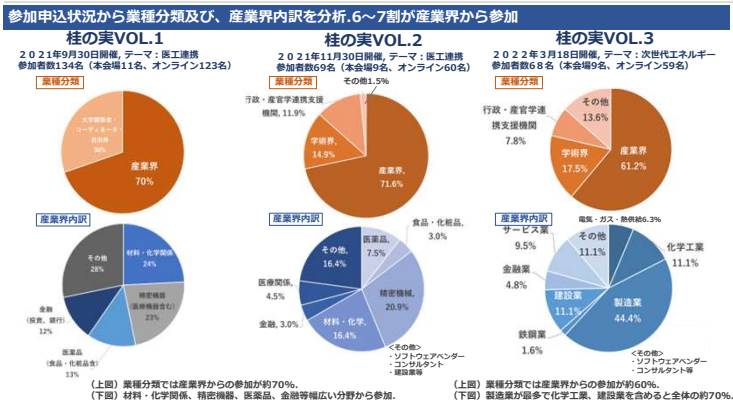
1. 要旨 ■京都大学学術研究支援室では、理工系女性研究者のネットワークを支え、活躍の場を広げていくことを目的に、工学研究科が所在する桂キャンパスにおいて、女性研究者による産学連携イベント(桂ジェネ※)を企画。
■本発表では京都大学桂キャンパスにおいて2021年度実施の産学連携イベント(桂の実VOL.1~3)の実績を紹介するとともに、桂ジェネイベントの狙い及び工夫した点等を紹介する。また、当該イベントを通してのキャリア形成等、世代間のネットワーク展開の可能性等を議論する。

2. 京都大学 桂キャンパスにおける産学連携の取り組み(イベントの位置づけ)

京大・工学研究科の研究シーズを桂キャンパス全体を使って研究シーズの可視化・発信を図る。
(『テクノサイエンスヒル桂』実現の中核)



4. 産学連携イベント参加者の属性



6. 改善例: イベント案策定(技術着目型→社会課題解決型)

社会課題(縦軸: SDG)と技術領域(横軸: TRM)を関連付け(表)、それらに関連する技術領域()から更に課題解決のための技術項目を抽出

表 社会課題と技術分野の関連づけ例

社会課題※2	グリーンイノベーション	DX	精密/高度の組織	モビリティ	医療	健康	ロボティクス	エレクトロニクス	情報通信	材料/製造	農林/食品工業	建設/土木	社会インフラ	航空宇宙
3. すべての人に健康と福祉を														
6. 安全な水とトイレを世界中に														
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに														
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう														
11. 住み続けられるまちづくりを														
12. つくる責任使う責任														
13. 気候変動に具体的な対策を														

※1 技術領域は(目標BP「テクノロジーロードマップ2022-2031」)を参照
※2 SDGは工学研究科の研究分野に該当するものを抽出

8. 桂ジェネイベントの狙い等

桂ジェネ

2022.9.21(水)13:30~17:15

狙い
理系の様々な研究分野での女性研究者の活躍を具体的な活躍例として紹介し、女性研究者による産学連携ネットワーク構築を支援する。

内容
今後の研究開発で重要な位置づけにあるジェンダー・イノベーションを理解するとともに、登壇者による研究の面白さ、今後の展開の紹介を受け、どのような研究開発が必要かをオープンディスカッションで議論する。

工夫した点
・イベントコンセプトの策定(社会課題解決とネットワーク構築の2つの観点)
・登壇者の選定(産官学のバランス、年代、専門分野等)
・関係者(学内、登壇者)に対する丁寧な趣旨説明(女性研究者を特別視するものではない等)

3. 産学連携イベント開催状況(2021年度実績テクノサイエンスヒル桂の実VOL.1-3)

京都大学 テクノサイエンスヒル 桂の実

2021.9/30(土) 14:00~17:30
テーマ: 医工連携
「見る・知る・防ぐ」

2022.11/30(土) 14:00~17:30
テーマ: 医工連携
「見る・知る・防ぐ」

2022.3/18(土) 14:00~17:30
テーマ: 次世代エネルギー
「持続可能な未来を創る」

■オープンディスカッションでは登壇者で必要とされる技術や医工連携の今後の展開等について意見交換を実施。
■参加者の個別ブース訪問(展示)登壇者及び参加者同士での意見交換を実施。
■オープンディスカッションで次世代エネルギーに関するトピックスを決定、関連する技術内容に、議論。

5. 産学連携イベントとしての振り返りと改善案

女性研究者によるイベント企画において、先の産学連携イベントでの振り返りも反映、(テーマ選定方法を社会課題解決型とし、オープンディスカッションを充実させる(トピックスの策定等))

	振り返り	改善案
イベント内容	- 登壇者及び参加者の満足度は高く、シーズ発信という観点で実績は得られたが、技術紹介に偏る傾向。 - 企業の生の声(以下)の反映要 声1) 今後企業では「どういった研究開発をすべきか」という研究が必要。 声2) 若手研究者に今後どういった開発が必要かを考える場を与える必要有。 - コロナ禍で人と人との交流、それに伴う産官学マッチングという観点では課題が残った。	社会課題を解決するためにどんな研究が必要かを議論するイベントへ ※テーマ選定方法の改善(技術着目型→社会課題解決型) ※オープンディスカッションの充実

7. 桂ジェネ※イベント概要

・どのような研究開発をするべきか: ジェンダー・イノベーションに関する講演
・社会課題解決型: SDG s 選定テーマでアカデミア、企業の女性研究者より講演

※ジェンダーネットワーク(女性研究者)※エネレーションネットワーク(中高生→大学生→研究者)

イベントタイトル	京都大学 女性研究者産学連携ネットワークイベント: 桂ジェネ※
趣旨	アカデミア及び企業における女性研究者の活躍例紹介
対象	理系女性研究者の活躍及びジェンダー・イノベーションに興味ある方
関連する社会課題(関連研究テーマ)	SDGs3: すべての人に健康と福祉を(最新分析技術、医療応用) SDGs11: 住み続けられるまちづくりを(地震、耐震、建築設計)
時期	2022年 9月21日(水)
開催時間/場所/形態	13:30~17:15/ 京都大学 工学研究科 イノベーションプラザ/ハイブリッド
プログラム	オープニング 基調講演 研究発表 オープニングディスカッション クロージング 展示

9. まとめ

- 京大桂キャンパスでの産学連携イベントとし「テクノサイエンスヒル桂の実(VOL.1~3)」を企画、工学の研究シーズを紹介(2021年度実績)。
- 2022年度は女性研究者による産学連携イベント(桂ジェネ)を企画。
狙い: 理系の様々な研究分野での女性研究者の活躍例の紹介と女性研究者による産学連携ネットワーク構築の支援
工夫した点: コンセプト策定、登壇者選定、関係者への丁寧な趣旨説明

＜今後の予定＞
実際にイベントを通して議論したキャリア形成や世代間のネットワーク展開の可能性等を今後のイベント企画他、具体的な研究支援に役立てる。

「京都大学 女性研究者産学連携ネットワークイベント: 桂ジェネ」
日時: 2022年9月21日(水) 13:30~17:15
会場: 京都大学 大学院工学研究科 イノベーションプラザ1F (定員先着30名)
オンライン配信(ZOOMウェビナー) 同時開催
イベントURL: <https://www.rac.t.kyoto-u.ac.jp/ja/news/events/ind-day2022katsuragene>

ご参加お待ちしております!!